

地域農林業の飛躍をめざして

(令和6年度普及活動の成果)



香 取 農 業 事 務 所

香 取 地 域 農 林 業 振 興 協 議 会

水田転換畑の地下水位調査 基盤整備後の高収益作物として、水稲裏作キャベツの安定生産技術の確立に取り組んでいます。写真は、試作ほ場の地下水位が栽培に適しているかを調査するために、自作の簡易地下水位計を設置している様子です。(P 1～3)	さつまいも栽培におけるスマート農業機械の実証 さつまいも生産者の規模拡大や省力化のために、スマート農業の導入を推進しています。写真は、収穫前の茎葉処理(つる刈り作業)において、ロータリーをマルチの高さに自動で合わせる自動高さ調整つる刈り機の実演会の様子です。(P 10)
湛水直は栽培による省力化技術導入 水稲の省力技術のひとつとして、湛水直は栽培があります。多古町では、直は栽培での収量確保に向けた栽培指導に取り組んでいます。写真は、普及に向けた実証ほにおける現地検討会の様子です。(P 13)	酪農後継者の自給飼料作物生産支援 飼料用トウモロコシの生産に取り組む若手酪農家を対象に、栽培管理技術向上や収量確保に向けた支援を行っています。写真は7月に実施した生産者ほ場における現地検討会の様子です。(P 30)

発 刊 に 当 た っ て

香取地域は、利根川が育む豊かな水田、北総台地の一角をなす広大な畑地という土地資源と、消費地である首都圏に隣接する条件により、県内屈指の農業地帯として発展してきました。

令和6年度は、近年の全体的な物価高の影響を受けて日常的な消費が抑制される状況が続きました。特に、6月以降続く記録的なコメ価格の高騰や、秋から冬にかけての野菜類の高騰は、大きな社会問題となりました。また、海外の紛争や円安等、国際的な経済の影響はエネルギーや原材料費の高騰に拍車をかけており、農業を取り巻く環境は、より一層厳しさを増しています。千葉県は、こうした状況下で農業を営む農家への支援を行いつつ、産地の維持・拡大に向けた活動に取り組んだ1年となりました。

国の農業施策においては、食料・農業・農村基本法が令和6年5月に改正されました。改正にあたっては、食料安全保障が強化された他、農産物の輸出促進や、担い手不足解消に向けたスマート農業の促進が示されました。

協同農業普及事業においては、千葉県農業を支える多様な担い手の育成・確保を基本的な普及活動の課題として令和3年2月に制定された、「協同農業普及事業の実施に関する方針－千葉県－」の下での普及活動を行っています。

香取農業事務所では、令和3年度に策定した千葉県農林水産業振興計画及び香取地域農林業振興方針に基づき、次世代を担う担い手の育成・確保、市場動向を捉えた販売力の強化、地域の特性を生かした農村の活性化をはじめとした6つの推進方針を軸に、香取地域の農林業を振興しているところです。

このような状況下、改良普及課では4つの方針のもと14課題を設定して普及活動に取り組んでいるところです。

- 1 地域を支える多様な担い手の育成・確保
- 2 水田をフル活用した水田農業経営の安定化
- 3 力強い園芸産地づくり
- 4 畜産経営の体質強化

これら課題の解決に当たっては、地域の農業者とともに管内の市町及び農業協同組合、関係諸機関と連携し、農業事務所内での検討を深めながら普及活動を進めてきました。

ここに令和6年度の主な普及活動の成果を取りまとめました。

協同農業普及事業に深い御理解を賜り、御協力をいただきました皆様に心よりお礼申し上げますとともに、地域の農業振興に御活用いただければ幸いです。

令和7年3月

香 取 農 業 事 務 所
所 長 嶋 野 清 隆

次

《普及活動の成果》

- | | | |
|---|--|---------|
| 1 | 《令和6年度千葉県普及活動成果発表大会 発表課題》
水稻経営と高収益作物栽培の安定化を目指して
— 基盤整備後の将来設計 — | ・ ・ ・ 1 |
| 2 | ナシ火傷病対策に伴う花粉確保
— 輸入花粉に依存しないナシ栽培を目指して — | ・ ・ ・ 4 |
| 3 | 稲 WCS 専用品種の作付拡大と収量向上
— 多古町での耕畜連携の拡大・改善の取組 — | ・ ・ ・ 6 |
| 4 | 夏どりこかぶ安定生産に向けた割れ対策
— 可給態窒素量の影響と品種による被害軽減効果 — | ・ ・ ・ 8 |

《 普及活動の報告 》

- | | | |
|---|--|----------|
| 1 | さつまいも栽培におけるスマート農業機械の実証
— 自動高さ調整つる刈り機の普及性を検討する — | ・ ・ ・ 10 |
| 2 | 水田転換畑におけるさつまいも栽培に向けた省力化等の検討
— 作業負担軽減技術の検証と収穫後の品質評価 — | ・ ・ ・ 11 |
| 3 | 水稻高温対策
— 高温耐性品種の普及に向けた取組 — | ・ ・ ・ 12 |
| 4 | 多古町の水稲経営規模拡大に向けた省力化技術の導入
— 湛水直は栽培の技術定着に向けた取組み — | ・ ・ ・ 13 |
| 5 | 畑地かんがいの活用によるやまといも収量・品質向上への取組
— 自動かん水システムによる省力化技術の検討 — | ・ ・ ・ 14 |
| 6 | 収益力の高い畜産経営体の育成
— 新たに子牛育成管理の取り組みを始めた経営体の支援 — | ・ ・ ・ 15 |

《 令和 6 年度現地課題調査研究事業実績 》

- | | | |
|---|---|----------|
| 1 | 飼料用米栽培における鶏ふん堆肥活用による化成肥料代替
— 初期生育の確保を目指した施肥設計の実証 — | ・ ・ ・ 16 |
| 2 | 水田を活用した飼料作物生産の事例調査
— 飼料用オオムギとイタリアンライグラスの混播栽培 — | ・ ・ ・ 23 |

《 令和6年度一般情報 》

《 主な普及活動 》

• • • 31